

清川村の茶葉工場を視察

国の対応求める意見書提出へ

6月8日(水)、厚木市議会では、清川村の茶葉に基準を超える放射性セシウムが検出され、出荷できなくなったことを受け、現地を視察しました。

まず、清川村にある荒茶加工施設「チャビニア清川」で、この間の経過を聞きました。

3か所あった加工施設を、国の山村振興対策事業補助金を受けて平成16年から一つにして、清川だけに、厚木や愛川のお茶も加工しています。

清川で荒茶加工をして、さらに足柄の工場で製品にして「足柄茶」になるということで、7月ごろに収入があるはずでした。しかし原発事故の影響で収穫・生茶ができず、国に対して補償を要望していくとのことでした。

すぐ近くの茶畑に行きました。

茶畑で農家の方が説明。出荷はできないけれど、葉を刈らないと来年の新葉に影響が出るので、刈りこみます。それはすべて茶の木の間へ捨てていました。さらに深刈りも、ここまで刈ると、来年は新葉は半分になってしまふそうです。

せっかく丹精込めた茶の葉を、捨てなければならぬ無念さが感じられました。

また、この工場では15人の地元の人が働いています。その人々もこの間は仕事がありません。

最後に厚木市飯山の茶畑も視てきました。厚木は基準以下だったのですが、加工場がチャビニア清川のため加工できず、結局刈り捨てて、厚木市議会としても、6月定例会の最終日に、国に対して対応をするように求める意見書を提出することになっています。



上：刈った葉はその場に刈り捨て。
下：厚木市広報にも載った見事な茶畑



今週の活動から



チャビニア清川茶工場の前で(6月8日、右：
釘丸久子議員、左：栗山香代子議員)

厚木の保育所も日曜日受け入れ
福島第一原発事故の影響で、今年の夏の電力需給対策として、企業では土・日の稼働が予定されています。

厚木市では、企業、労働組合、保護者の要望を受けて、公立保育所2か所、および留守家庭児童クラブ2か所を日曜日にも開所します。

保育所は厚木保育所と南毛利保育所、7月から9月までの日曜日、7時半～午後6時までで、一日1500円の保育料です。弁当、おやつ、水筒持参。定員はそれぞれ30人程度。

学童保育は厚木児童クラブ(厚木小)、荻野児童クラブ(荻野小)。期間・時間は保育所と同じです。弁当・水筒持参。1日2000円で各25人。

どちらも保育所や学童クラブに入所していること、保護者の日曜日勤務が条件。

しかし、保育所の保育料は収入に応じて0円～5万8千円です。一律の保育料はどうなのでしょうか。また、保育士の増員も必要になります。

放射線医学総合研究所の

「放射線被ばくの基礎知識」

独立行政法人「放射線医学総合研究所」では、福島原発の事故後、HPで「放射線被ばくの基礎知識を公表しています。その一部をお知らせします。

問 首都圏に住んでいます。外出を避けたほうがいいですか？ 放射線のレベルが高くなっていると言われました。大丈夫でしょうか？

答 事故から現在まで首都圏で観測された放射線の量は微量で、今後事故が大きく拡大しない限りは、普段通りの生活をおくって全く問題ありません。放射線のレベルが通常の10倍あるいは百倍などと聞くと、たいへん高い線量のように感じられると思いますが、実際には健康に影響のないレベルです。

問 放射性物質で汚染された食べ物のことが報道されていますが、野菜などを食べる際に気をつける事はありますか？

答 野菜で検出された放射性物質は、ほとんどすべて、表面に付いていると考えられます。従って、野菜を洗う、煮る(煮汁は捨てる)、皮や外葉をむく、などによって、汚染の低減が期待できます。

問 学校給食に使用される野菜は大丈夫ですか？

答 現在、基準値以上の放射性物質が検出された野菜は出荷が制限されますので、安心して下さい。

くらしを脅かす原発からの転換を